

笠岡市の魅力ポイント

■面積 136.2km² ■人口 約4.4万人 ■指定地域 離島

<笠岡の地理的特徴といえば！？>

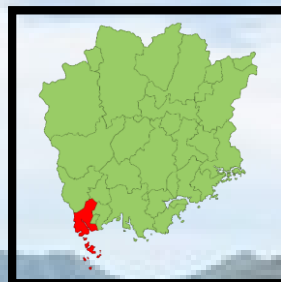
- ・岡山県だけど、福山経済圏
- ・瀬戸内海と笠岡諸島

白石島（鎧岩。白石踊は国重要無形民俗文化財）

北木島（千鳥大悟の出身地（家族は今も在住）。
国会議事堂の大理石、大阪城石垣などを産出）

- ・笠岡湾干拓地（大規模農業、ひまわりやコスモス、
菜の花の花畑もきれい）

ここは岡山？広島？



<笠岡のおいしいものといえば！？>

- ・県内給食の4割をカバーする牛乳！干拓に牛1万頭！
- ・最近人気の笠岡ラーメン（鶏チャーシュー乗せ鶏ガラ醤油ラーメン）
- ・岡山といえばやっぱり桃！白桃の香りがハンパない！
- ・瀬戸内海で獲れたシャコ！（笠岡市の市魚！）
- ・地ビール（六島でクラフトビールを醸造）



<笠岡の特徴といえば！？>

- ・カブトガニの生息地！カブトガニ博物館

※1928年（昭和3年）生江浜海岸が

「天然記念物カブトガニ繁殖地」として、国天然記念物指定。

- ・紅白でも放送されたよね！藤井風の家がすぐそば



笠岡市の課題

■ 政策分野 漁業振興、離島振興

- 笠岡市は、瀬戸内海に面し、有人離島7島を抱える。離島部は人口減少、高齢化、経済活力の低下に悩まされる中、応援隊は主に下記2点の課題に取り組む。
 - ①総合海洋教育の拠点をつくる事業である「渚の交番プロジェクト（渚の交番かさおかしまラボ（仮称））」を立ち上げ、収益事業として軌道に乗せる。
 - ②飛島で行われている離島留学事業「フリースクール育海（はぐくみ）」が、（運営経費の裏付けのない）2025年以降も継続的安定的に運営できるための道筋を作る。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月～8月：オンライン打合せ、現地視察
 - ・市より市の概況、有人離島の様々な課題の説明
 - ・市長との意見交換、有人離島等の視察、現況把握
 - ・地方応援隊として取り組む課題設定
 - ・離島留学における離島活性化交付金の活用についての宿題返し
- 令和5年10月～11月：オンライン打合せ
 - ・渚の交番事業についての現況のヒアリング、方針議論等
- 令和6年1月～5月：オンライン打合せ
 - ・渚の交番事業についての今後のスケジュール確認
 - ・島のお土産品案調べや漁港占有料についての宿題返し
- 令和6年8月～11月：オンライン打合せ
 - ・渚の交番事業についての現況のヒアリング

今後の展望

- ①「渚の交番プロジェクト」については、事業主体である「かさおか島ラボ」の事業内容の方向性について検討している段階。今後は、かさおか島ラボを中心に、事業計画の細部を詰めていく。
- ②離島留学事業についても、今後とも継続的で安定的な運営に取り組む。（離島活性化交付金の申請を予定）